

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2022.8.31時点)

分類	保管場所	保管容量※1	保管量※1	前回集約からの増減※2 2022.7.31 - 2022.8.31	エリア 占有率	保管量/保管容量※1 (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	13,800 m ³	2,200 m ³	0 m ³	16%	238,000 / 266,300 (89%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 港湾関連工事(エリアC) エリア整理のための移動(エリアP1) フランジタンク除染作業(エリアAA) 1~4号機建屋周辺関連工事(エリアe)
		B	5,300 m ³	5,300 m ³	0 m ³	100%		
		C	67,000 m ³	66,500 m ³	+200 m ³	99%		
		F2	6,400 m ³	6,400 m ³	0 m ³	99%		
		J	6,300 m ³	6,200 m ³	0 m ³	99%		
		N	9,700 m ³	9,600 m ³	0 m ³	99%		
		O	44,100 m ³	44,000 m ³	0 m ³	100%		
		P1	62,700 m ³	62,300 m ³	-200 m ³	99%		
		U	800 m ³	700 m ³	0 m ³	100%		
		V	6,000 m ³	6,000 m ³	0 m ³	100%		
	AA	36,400 m ³	21,700 m ³	+200 m ³	60%			
	d	1,200 m ³	1,200 m ³	0 m ³	100%			
	e	6,700 m ³	5,900 m ³	+400 m ³	89%			
	シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	2,700 m ³	2,600 m ³	0 m ³	97%	47,700 / 50,700 (94%)	
		E1	15,400 m ³	14,700 m ³	0 m ³	95%		
P2		6,700 m ³	5,800 m ³	0 m ³	87%			
W		11,600 m ³	10,500 m ³	0 m ³	91%			
X		7,900 m ³	7,700 m ³	0 m ³	97%			
m		3,100 m ³	3,000 m ³	0 m ³	99%			
覆土式一時保管施設、容器 (1~30mSv/h)	L	16,000 m ³	16,000 m ³	0 m ³	100%	16,800 / 17,900 (94%)		
	F2※3	1,200 m ³	600 m ³	0 m ³	51%			
	F1	700 m ³	200 m ³	0 m ³	25%			
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫※3	39,600 m ³	28,000 m ³	微減 m ³	71%	28,000 / 39,600 (71%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 エリア整理のための移動 	
合計(ガレキ)		374,400 m ³	330,400 m ³	+500 m ³	88%			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	40,000 m ³	31,300 m ³	微増 m ³	78%	92,100 / 134,000 (69%)	
		H	43,000 m ³	31,700 m ³	0 m ³	74%		
		M	45,000 m ³	27,100 m ³	0 m ³	60%		
		V	6,000 m ³	2,100 m ³	+100 m ³	34%		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	29,700 m ³	26,200 m ³	0 m ³	88%	37,300 / 41,600 (90%)	
T	11,900 m ³	11,100 m ³	0 m ³	94%				
合計(伐採木)		175,600 m ³	129,400 m ³	+100 m ³	74%			
保護衣	屋外集積	52,500 m ³	27,700 m ³	-2,700 m ³	53%	27,700 / 52,500 (53%)	<ul style="list-style-type: none"> 使用済保護衣等焼却量： 11,020 t (2022年8月末累積) 焼却灰・プラスト材のドラム缶相当数： 3,115 本 (2022年8月末累積) 焼却灰は固体廃棄物貯蔵庫9棟2階に放射性廃棄物として保管 	
	合計(使用済保護衣等)		52,500 m ³	27,700 m ³	-2,700 m ³	53%		

※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある

※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは50m³未満の増減を示す

※3 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む

仮設集積の管理状況(2022.8.31時点)

分類	場所	保管容量※1	保管量※1	前回集約からの増減※2 2022.7.31 - 2022.8.31	エリア 占有率	保管量/保管容量※1 (割合)	トピックス
仮設集積	①	3,000 m ³	2,700 m ³	0 m ³	90%	50,700 / 62,600 (81%)	<ul style="list-style-type: none"> 点検等の作業が錯綜し、一時保管エリアへの瓦礫類の受入が停滞。結果、仮設集積の増加、長期化に至った このような状況を改善し、廃棄物管理の適正化を図るため、2022年3月までに工事主管Gの分別やコンテナ収納を目的としない「一時保管待ち」の仮設集積を解消し、固体廃棄物Gの仮設集積に集約する作業を完了 合わせて、2022年度より、工事主管Gが設置する仮設集積は本来の目的である分別やコンテナ収納作業等に限定する旨をルール化 固体廃棄物Gの「一時保管待ち」の仮設集積については、2022年度中に一時保管エリアとして設定する等により解消する計画
	②	3,000 m ³	3,000 m ³	0 m ³	100%		
	③	2,000 m ³	2,000 m ³	0 m ³	98%		
	④	7,700 m ³	5,400 m ³	0 m ³	71%		
	⑤	14,000 m ³	12,300 m ³	+800 m ³	88%		
	⑥						
	⑦						
	⑧	4,500 m ³	3,600 m ³	0 m ³	79%		
	⑨						
	⑩						
	⑪						
	⑫						
	⑬						
	⑭	2,200 m ³	2,200 m ³	0 m ³	100%		
	⑮	2,000 m ³	1,900 m ³	-100 m ³	94%		
	⑯	3,600 m ³	2,600 m ³	0 m ³	72%		
	⑰						
	⑱	20,700 m ³	15,100 m ³	+2,100 m ³	73%		

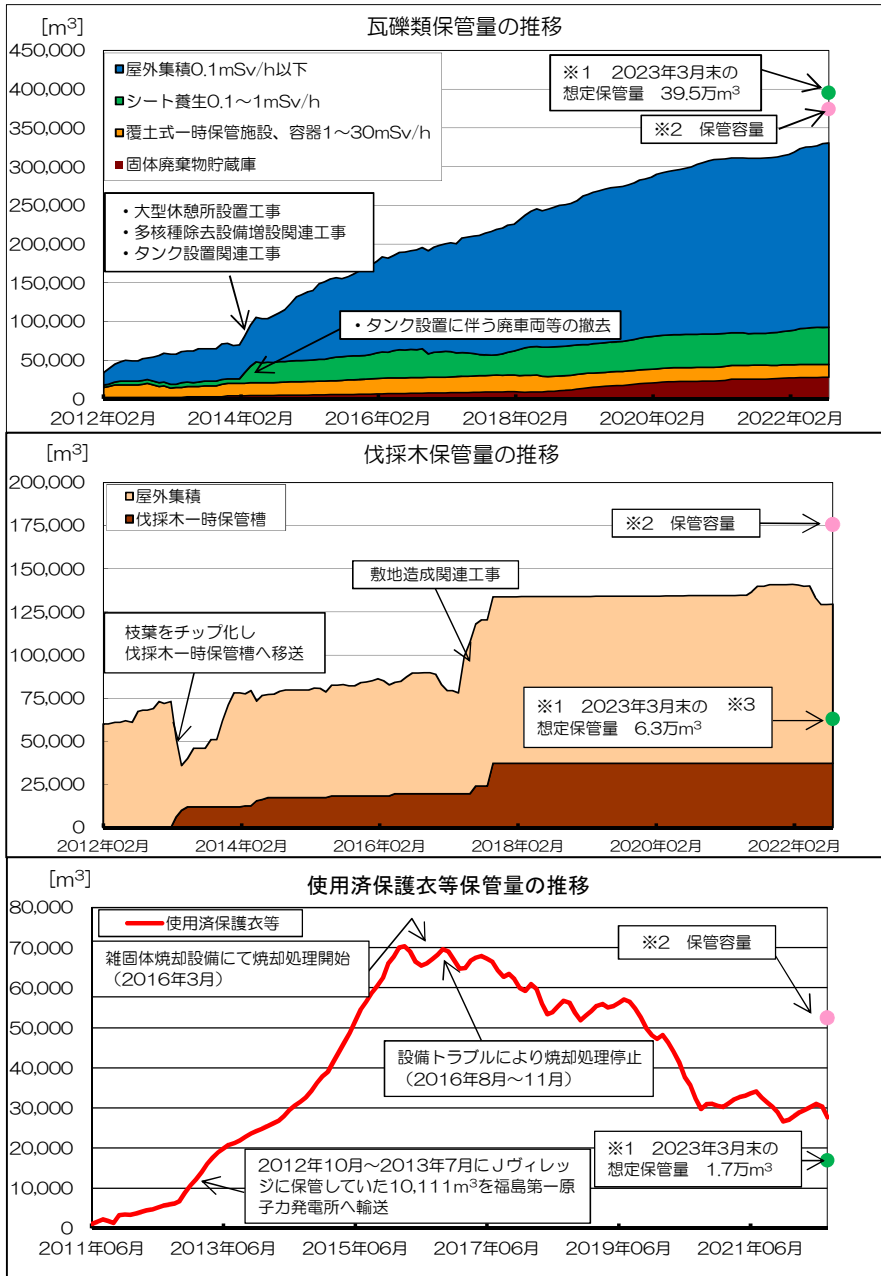
※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある

※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは50m³未満の増減を示す

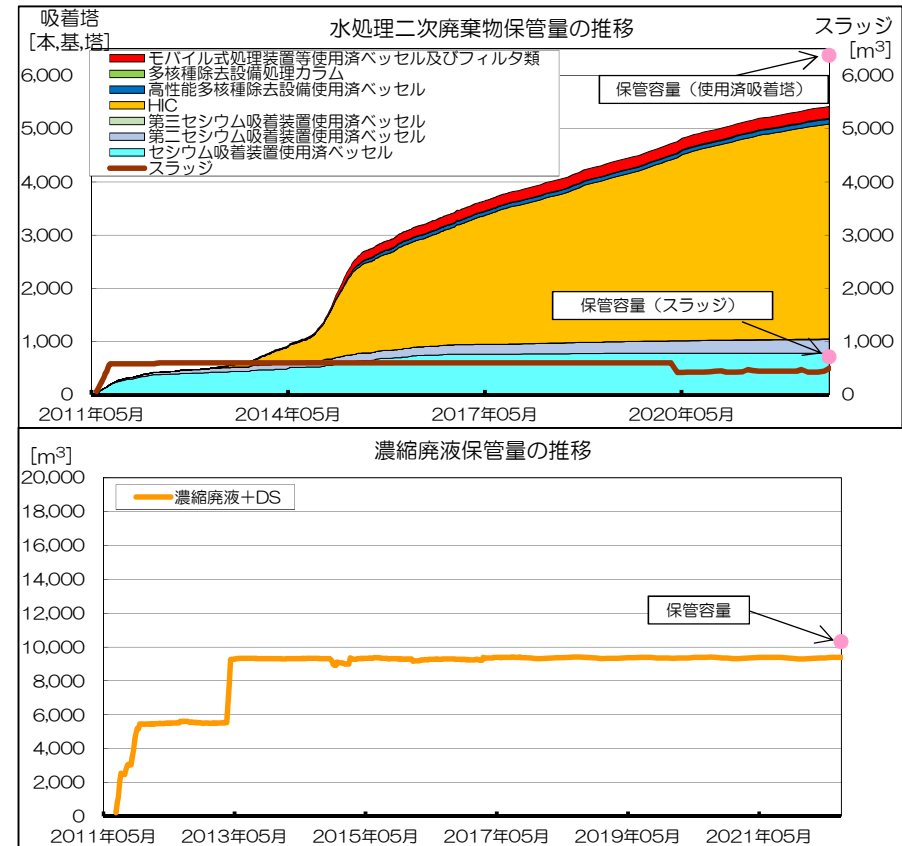
水処理二次廃棄物の管理状況(2022.9.1時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減 2022.8.4 - 2022.9.1	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779 本	0 本	5,417 / 6,372 (85%)		
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	254 本	0 本			
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル	13 本	0 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,989 基			+3 基
			増設	2,053 基			+12 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	91 本			0 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	17 塔			0 塔
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		221 本	0 本				
水処理二次廃棄物	廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	492 m ³	+50 m ³	492 / 700 (70%)	・造粒固化体貯槽(D)周辺の除染作業を実施中	
		濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,380 m ³	0 m ³	9,380 / 10,300 (91%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内(現場パトロール異常なし) 水位計0%以上の保管量： 9,280 m³ タンク底部～水位計の保管量(DS)： 約 100 m³

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2022.8.31時点)



水処理二次廃棄物の管理状況(2022.9.1時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2022年7月22日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。
 ※3 増設雑固体廃棄物焼却設備の竣工遅れに伴い見直し予定